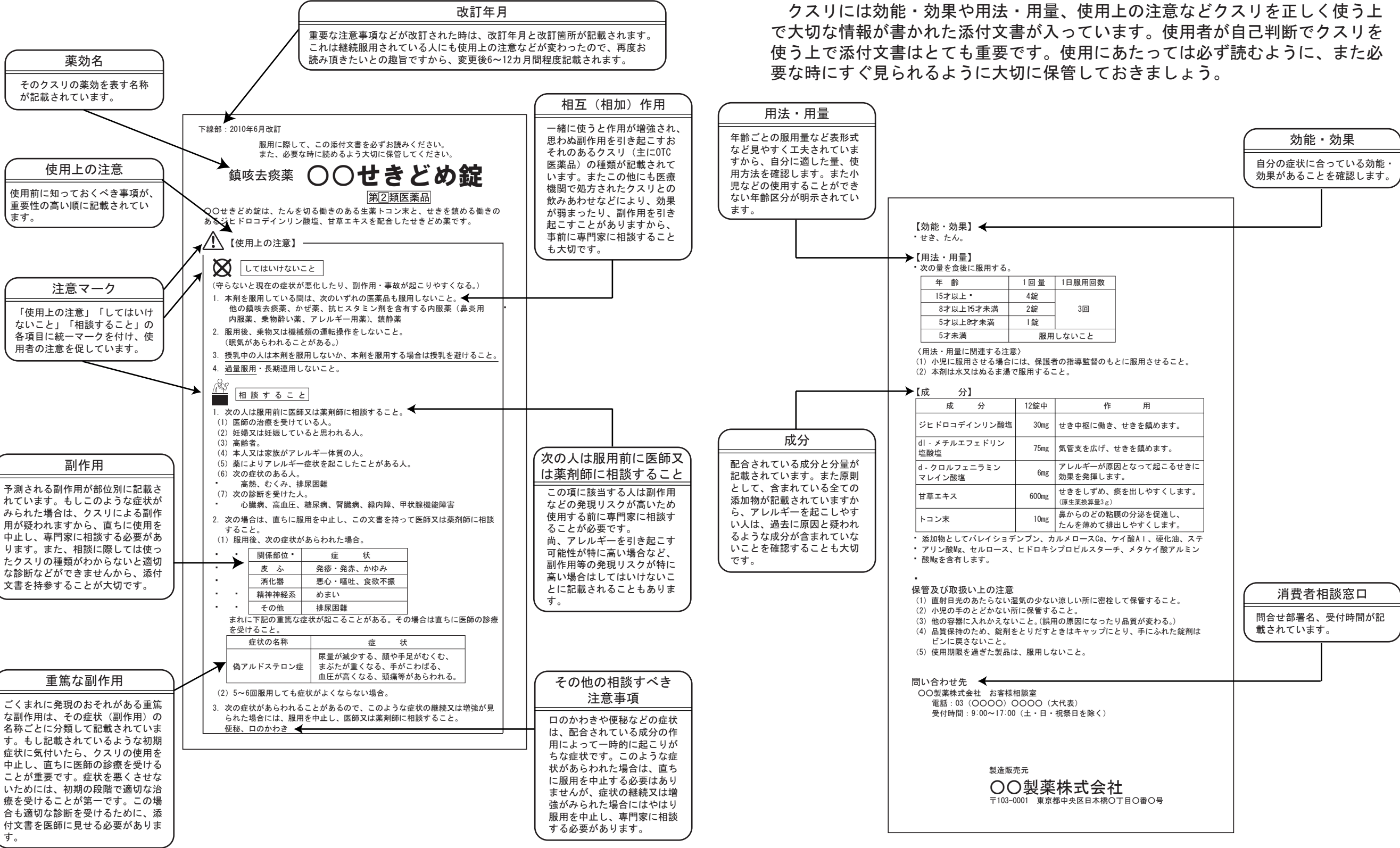


# 添付文書の読み方



## 改訂年月

重要な注意事項などが改訂された時は、改訂年月と改訂箇所が記載されます。これは継続服用されている人にも使用上の注意などが変わったので、再度お読み頂きたいとの趣旨です。変更後6～12カ月間程度記載されます。

## 薬効名

そのクスリの薬効を表す名称が記載されています。

## 使用上の注意

使用前に知っておくべき事項が、重要性の高い順に記載されています。

## 注意マーク

「使用上の注意」「してはいけないこと」「相談すること」の各項目に統一マークを付け、使用者の注意を促しています。

## 副作用

予測される副作用が部位別に記載されています。もしこのような症状がみられた場合は、クスリによる副作用が疑われますから、直ちに使用を中止し、専門家に相談する必要があります。また、相談に際しては使ったクスリの種類がわからないと適切な診断などができませんから、添付文書を持参することが大切です。

## 重篤な副作用

ごくまれに発現のおそれがある重篤な副作用は、その症状(副作用)の名称ごとに分類して記載されています。もし記載されているような初期症状に気付いたら、クスリの使用を中止し、直ちに医師の診察を受けることが重要です。症状を悪くさせないためには、初期の段階で適切な治療を受けることが第一です。この場合も適切な診断を受けるために、添付文書を医師に見せる必要があります。

## 相互(相加)作用

一緒に使うと作用が増強され、思わぬ副作用を引き起こすおそれのあるクスリ(主にOTC医薬品)の種類が記載されています。またこの他にも医療機関で処方されたクスリとの飲みあわせなどにより、効果が弱まったり、副作用を引き起こすことがありますから、事前に専門家に相談することも大切です。

## 用法・用量

年齢ごとの服用量など表形式など見やすく工夫されていますから、自分に適した量、使用方法を確認します。また小児などの使用することができない年齢区分が明示されています。

## 効能・効果

自分の症状に合っている効能・効果があることを確認します。

下線部：2010年6月改訂

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

### 鎮咳去痰薬 ○○せきどめ錠

第2類医薬品

○○せきどめ錠は、たんを切る働きのある生薬トコン末と、せきを鎮める働きのあるジドロコデインリン酸塩、甘草エキスを配合したせきどめ薬です。

【使用上の注意】

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
  - 他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)、鎮静薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気があらわれることがある。)
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること。
- 過量服用・長期連用しないこと。

⚠ 相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること。
  - (1) 医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 高齢者。
  - (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
  - (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (6) 次の症状のある人。
    - ・ 高熱、むくみ、排尿困難
  - (7) 次の診断を受けた人。
    - ・ 心臓病、高血圧、糖尿病、腎臓病、緑内障、甲状腺機能障害
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること。
  - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合。
 

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

 まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診察を受けること。
 

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。
  - 5～6回服用しても症状がよくならない場合。
- 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること。
  - 便秘、口のかわき

## 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

この項に該当する人は副作用などの発現リスクが高いため使用する前に専門家に相談することが必要です。尚、アレルギーを引き起こす可能性が特に高い場合など、副作用等の発現リスクが特に高い場合はしてはいけないことに記載されることもあります。

## その他の相談すべき注意事項

口のかわきや便秘などの症状は、配合されている成分の作用によって一時的に起こりがちな症状です。このような症状があらわれた場合は、直ちに服用を中止する必要はありませんが、症状の継続又は増強がみられた場合にはやはり服用を中止し、専門家に相談する必要があります。

## 成分

配合されている成分と分量が記載されています。また原則として、含まれている全ての添加物が記載されていますから、アレルギーを起こしやすい人は、過去に原因と疑われるような成分が含まれていないことを確認することも大切です。

## 【効能・効果】

・せき、たん。

## 【用法・用量】

・次の量を食後に服用する。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
15才以上	4錠	3回
8才以上15才未満	2錠	
5才以上8才未満	1錠	
5才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関する注意〉

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 本剤は水又はぬるま湯で服用すること。

## 【成 分】

成 分	12錠中	作 用
ジドロコデインリン酸塩	30mg	せき中枢に働き、せきを鎮めます。
d1-メチルエフェドリン塩酸塩	75mg	気管支を広げ、せきを鎮めます。
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	6mg	アレルギーが原因となって起こるせきに効果を発揮します。
甘草エキス	600mg	せきをしずめ、痰を出しやすくします。(原生薬換算量3g)
トコン末	10mg	鼻からのどの粘膜の分泌を促進し、たんを薄めて排出しやすくします。

・添加物としてパレイシヨデンブ、カルメローズCa、ケイ酸A1、硬化油、ステアリン酸Mg、セルロース、ヒドロキシプロピルスターチ、メタケイ酸アルミン酸Mgを含有します。

## 保管及び取扱上の注意

- 直射日光のあたらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- 小児の手のとどかない所に保管すること。
- 他の容器に入れかえないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- 品質保持のため、錠剤をとりだすときはキャップにとり、手にふれた錠剤はビンに戻さないこと。
- 使用期限を過ぎた製品は、服用しないこと。

## 問い合わせ先

○○製薬株式会社 お客様相談室  
電話：03(○○○○)○○○○(大代表)  
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

製造販売元

○○製薬株式会社

〒103-0001 東京都中央区日本橋〇丁目〇番〇号

## 消費者相談窓口

問合せ部署名、受付時間が記載されています。